



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	はじめての音楽史(片桐功ほか著 音楽の友社)
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>授業では音楽を中心にすすめていきますが、美術や文学など同時代の他の芸術についても触れていくようにします。実際に代表的な作品の一部に接して、音楽という人間の根源的な営みのひとつに対する認識と造詣を深めると同時に、豊かな教養を身につけましょう。授業は板書とプリントを使いながら丁寧にすすめますので、しっかりノートをとって復習に役立て、試験に備えて下さい。</p> <p>レポートの書き方や内容については具体的に指示しますので、自分の頭で考え、力をつくして作成して下さい。厳しく評価します。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>この授業では、我々のいまを取り囲んでいる音楽が西洋音楽を基礎に成り立っていることを知り、古来の伝統音楽にも触れつつ、日本が西洋音楽をどのような過程で受容してきたかを学びます。文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解して、これからの時代を担っていく技術者として豊かな人間性を育み、社会に貢献する自覚と素養を培うことを目指してほしいと思います。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス はじめに 西洋史 I	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・西洋音楽史のはじまりと、古代ギリシアの歴史と文化について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
2	西洋文化史 I	・中世の音楽と文化について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
3	西洋史 II	・15～16世紀の歴史について理解する。	プリントにあらかじめ目を通しておく。学習した内容を復習する。
4	西洋文化史 II	・ルネサンスの音楽と文化について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
5	西洋史 III	・17世紀の歴史について理解する。	プリントにあらかじめ目を通しておく。学習した内容を復習する。
6	西洋文化史 III	・バロック時代の音楽と文化について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
7	西洋史 IV	・18世紀の歴史について理解する。	プリントにあらかじめ目を通しておく。学習した内容を復習する。
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	試験でできなかった部分を復習する。
10	西洋音楽史 IV	・古典派の音楽と文化について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
11	西洋史 V	・19世紀の歴史について理解する。	プリントにあらかじめ目を通しておく。学習した内容を復習する。
12	西洋文化史 V	・ロマン派の音楽と文化について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
13	日本音楽史 I	・日本音楽史の始まりと伝統音楽について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
14	日本音楽史 II	・伝統音楽と西洋音楽の並存について理解する。	教科書の該当箇所をあらかじめ読んでおく。学習した内容を復習する。
	<b>期末試験</b>		
15	試験返却・解答解説	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	試験でできなかった部分を復習する。
<b>総 学 習 時 間 数</b>			45 時間
<b>講 義</b>			30 時間
<b>自学自習</b>			15 時間